結

JCI石巻がつくる広報誌
―YUI―

2021.9
vol.2

JCI Ishinomaki

理事長対談

激レア理事長に会いに行く！！！

日本青年会議所 東北地区宮城ブロック協議会 Youtube連動企画

巻末特集

石巻市長に表敬訪問！

三役会が聞く～これからの石巻～

激レア理事長

JCI ISHINOMAKI

2021年度 委員会紹介

事業紹介
Business Report

会員紹介
Member Introduction

2021.9 vol.2
JCI石巻がつくる広報誌 結 ―YUI―
発行／一般社団法人 石巻青年会議所

自己成長をしたい人
タイムマネジメントを身に付けたい人
人脈を広げたい人
地域（まち）の為に貢献したい人

私達と一緒に活動してみませんか？

新入会員募集中

入会案内

（一社）石巻青年会議所は、1964年に設立し今年で57周年を迎える、地域の人づくり・まちづくりに取り組んでいる団体です。活動原資である会員の年会費10万円にて、主な活動内容の石巻川開き祭り、サン・ファン祭りなどの祭り事業、月に１回開かれる例会、地域住民を対象とした公開講演会などを開催しております。現在63名の会員で活動しており、多くの女性の会員も在籍し、活躍しております。これからの石巻市・東松島市・女川町のことを考え活動して下さる20歳～40歳までの2市1町に居住又は勤務されている青年経済人を募集しております！

JCI Ishinomaki
一般社団法人 石巻青年会議所
〒986-0822 宮城県石巻市中央三丁目1-43 木村ビル2F
TEL 0225-95-1013 FAX 0225-95-1023
ホームページ http://i-jc.net/ Eメール info@i-jc.net/

Follow us
Website
facebook
Instagram
Youtube

理事長挨拶

ご挨拶

私たち一般社団法人石巻青年会議所（以下ＪＣＩ石巻）は20歳から40歳までの青年経済人が所属しており、地域の人づくり・まちづくりに取り組んでいる団体です。

主な活動内容は会員を対象とした月に一度の例会の開催、地域の交流や歴史を発信する場でもあるサン・ファン祭り、石巻川開き祭り、北上川フェアなどの祭り事業を行っています。また、地域の皆様を対象とした公開講演会や公開討論会、行政と連携して政策コンテストなどを開催しております。各事業を通してこの地域に存在する魅力や歴史を新たに発見し、再認識いただくことで、我々が住み暮らす地域がより良くなるための一助となる活動を行っております。また、事業の構築や委員会運営を通して会員の人材育成に積極的に取り組んでいます。

震災から10年の節目となる今年、ＪＣＩ石巻の活動エリアである石巻市、東松島市、女川町は着実に復興の歩みを進めておりますが、震災によって加速したと言われる人口減少、少子化、高齢化に加え、コミュニティの縮小や地域間交流の減少など、課題もまだまだ山積しています。また、新型コロナウイルスの影響による経済的な打撃も決して小さくはありません。

青年経済人である私たちが、自分たちが生まれ、住み暮らす地域について理解を深め、これからの未来を考え、ウィズコロナからアフターコロナへ向けたニューノーマル時代への対応と対策を率先して実践することが、この地域をより明るい未来へと牽引する力になるはずです。

これからの時代に向けて自身をアップデートさせ、その成長を家庭、職場、そして地域へと波及させ、自らが率先して行動する人材の育成と地域の明るい未来の実現に向かい行動していきます。

共に地域を考え成長を求め活動する仲間のご入会をお待ちしております。

一般社団法人　石巻青年会議所
理事長　沼倉　勝哉

不易流行 ～自分を、未来を、アップデート～

目　次

激レア理事長に会いに行く！！！ …… 4－5
事業紹介 …… 6－7
2021年度委員会紹介 …… 8
会員紹介 …… 9
石巻市長へ表敬訪問 !! …… 10 － 11

青年会議所とは

What's JC

青年会議所（ＪＣ）は明るい豊かな社会の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。

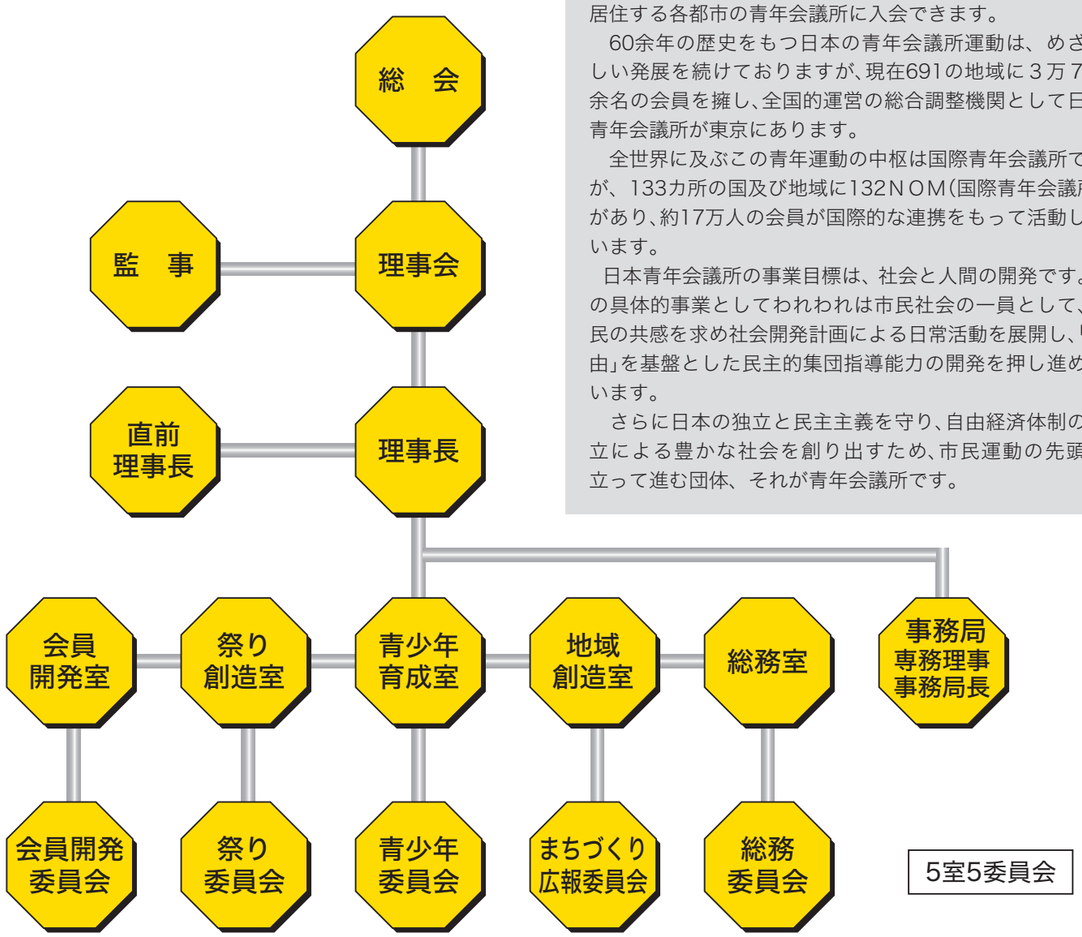
60余年の歴史をもつ日本の青年会議所運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在691の地域に３万７千余名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。

全世界に及ぶこの青年運動の中枢は国際青年会議所ですが、133カ所の国及び地域に132ＮＯＭ（国際青年会議所）があり、約17万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。

日本青年会議所の事業目標は、社会と人間の開発です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導能力の開発を押し進めています。

さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

一般社団法人　石巻青年会議所 2021年度組織図



LOM基本データ

創　立	1964年（昭和39年）６月23日
承　認	1965年（昭和40年）２月21日　第291号 （スポンサーＪＣ：仙台ＪＣ）
法人認可	1982年（昭和57年）12月21日
姉妹ＪＣ	茨城県ひたちなか市 一般社団法人　ひたちなか青年会議所
友好ＪＣ	群馬県桐生市 公益社団法人　桐生青年会議所
会員数	63名（男性55名　女性８名）　※2021年８月31日現在
理事長	第57代　沼　倉　勝　哉

JCI Ishinomaki ™

激レア理事長 に会いに行く!!!

今回の
激レア理事長

研究員
公益社団法人　日本青年会議所
東北地区宮城ブロック協議会　会長
佐瀬　充洋

激レアさん
一般社団法人　石巻青年会議所
理事長
沼倉　勝哉

収録日：2021年7月30日㈮

この対談は、公益社団法人日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会 2021 年度の佐瀬充洋会長と、宮城県内 11 の青年会議所の理事長を激レア理事長として、テレビ番組仕立てにして収録した動画「激レア理事長に会いに行く！！！」を文字に起こしたものです。実際の収録動画につきましては YouTube で「日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会」のアカウントを検索していただき、そちらから動画をご視聴いただけます。

佐瀬：みなさんこんにちは。本日もこのコーナー進めて参りましょう。本日の激レア理事長はこちらの方です。ＪＣＩ石巻の沼倉勝哉理事長です。沼倉理事長よろしくおねがいします。

沼倉：よろしくおねがいします。

激レアPoint 1　靴磨き

佐瀬：それでは早速、沼倉理事長は何が激レアなのか探っていきたいと思います。最初の激レアポイントはこちらです。「趣味・特技：靴磨き」ということですけども詳しく教えて下さい。

沼倉：きっかけは10年ほど前、妻が付き合っている時に、私に革靴をプレゼントしてくれまして、それを大事にしたいという気持ちから靴磨きが始まりました。それから革靴の魅力と元来の収集癖からどんどんハマっていきました。最近は忙しい日が続いているので、心が疲れたなというときは、夜中にこっそりと磨いて没頭しています。

―**持参した革靴の紹介**―

佐瀬：奥様からいただいた革靴はもう10年以上大切に履き続けていらっしゃるそうですね。

沼倉：はい。また今日は靴磨きセットも持参しました。

―**靴磨きセットの紹介**―

佐瀬：すごいですね。それを色々と駆使して靴を磨いていくわけですね。

激レアPoint 2　歯医者

佐瀬：そんな沼倉理事長の2つ目の激レアポイント。ご職業が歯科医ということですがどういったことをされていらっしゃるのでしょうか。

沼倉：父親と妻の3人体制でまちの歯医者さんとして地域医療の一端を担っています。今年度はＪＣＩ石巻の理事長職を仰せつかっておりますので、ＪＣ活動の際は妻に支えてもらいながら活動しています。

佐瀬：ご自身が万が一虫歯になってしまったら、お父様と奥様どちらに治療してもらいたいですか？

沼倉：断然、妻ですね。

佐瀬：さて、そんな沼倉理事長は、某アーティストと出身大学が同じということですがどういうことでしょうか。

沼倉：歯科医でアーティストというとピンとくる方もいらっしゃるかと思います。そのアーティストの方々と合えば話をする間柄という関係で、デビュー前はライブに招待していただきました。研修医時代は、リーダーの方とレントゲンの撮り合いをしていたこともありました。

佐瀬：某アーティストについて詳しく知りたい方は、虫歯になって沼倉歯科医院にお越しください。

激レアPoint 3　ＪＣ入会の誘いは何度も断っていた

佐瀬：続いての激レアポイントはコチラです。「ＪＣ入会の誘いは何度も断っていた」これはどういうことでしょうか。

沼倉：父もＪＣのＯＢということもあり何度も勧誘がありました。まず私が石巻に帰ってきたのが震災の一年前でした。仕事に一生懸命になっているうちに被災しまして、何かと様々な部分で忙しくなりＪＣ活動をする余裕がなく、お断りしていましたが、紆余曲折あり入会することになりました。

佐瀬：そんな沼倉理事長ですが、ＪＣにハマったきっかけが入会1年目の時のクリスマス会の事業ということですが、これはどういうことでしょうか。

沼倉：ＪＣＩ石巻のクリスマス会は新入会員が企画して、会員の家族を招待して会員同士の親睦を深める事業です。それまではＪＣのことを深く理解してなく受け身で活動することが多かったのですが、クリスマス会をきっかけに主体的に取り組むことの楽しさに気づけました。同期メンバーで楽器経験者が多かったこともあり、バンドを組み音楽アトラクションを企画して夜遅くまで準備をしていく中でＪＣ活動にハマっていきました。

佐瀬：このクリスマス会は現在も続いているのでしょうか。

沼倉：はい。ただ昨年はコロナの影響もありますので、ドライブスルー形式という新しい形で開催しました。車の中から事業紹介の動画を視聴してもらったり、車の中から射的をしてもらったりと様々なアトラクションが催されました。今年度もどういった形になるかは検討中ですが、しっかりと続けていきたいと考えています。

佐瀬：新入会員が中心になる事業ということで、ぜひ入会していただいて事業の楽しさを経験していただければと思います。

ＪＣＩ石巻について

佐瀬：さて、ここからはＪＣＩ石巻について質問させていただきます。これまでの活動内容について教えてください。

沼倉：これまで私たちは地域の魅力を発信する事業を展開してきました。5月はサンファン祭り、8月は圏域最大の祭りである川開き祭りの中で大縄引き大会の運営、春と秋には地域の皆さまを対象に公開講演会の企画、行政と連携をとり地域の学生を集めて政策コンテストの企画運営を行っています。

佐瀬：そんなＪＣＩ石巻のウリはなんでしょうか。

沼倉：先輩諸兄から脈々と続く伝統と歴史を受け継ぎながら、時代時代に即した形で活動していくということが私たちのウリだと考えています。

佐瀬：そんなＪＣＩ石巻は、女性会員が多いようですがなにか秘訣はあるのでしょうか。

沼倉：おそらくですが、きっかけは偶然です。ＯＢ会員のご息女も多かったので。その時から女性が楽しむために女子会等も多く開催されて結束を深めていったのではないかと思います。人数としては男性会員のほうが多いですが、女性会員はそれに負けないパワーをもって活動しています。

佐瀬：ぜひ全国の青年会議所も参考にしていただければと思います。そんな中で、ＪＣＩ石巻の課題は何かありますか。

沼倉：在籍年数の短い若い会員が多いということはウリにもなるのですが、表裏一体で、ここ数年アクティブメンバーが多く卒業してしまうということもあり、会員の拡大、伝統の引き継ぎをしていくということが課題のひとつとなっています。

佐瀬：若いメンバーが多いということで本当に楽しみなＬＯＭだと思います。本年度、理事長を務めておられますが、この地域をこれからどのようにしていきたいと考えていますか。

沼倉：ＪＣに入会してから石巻圏域の魅力に気づけて良かったと思うことが多々ありました。そういったことを多くの市民、会員の共感を呼び、誇りを持てるような地域にしていきたいと考えています。

佐瀬：そんな地域にしていくために、今年度のＪＣＩ石巻の取り組みについて教えて下さい。

沼倉：今年度は震災から10年の節目であり、今まで石巻のトップとして走ってこられた亀山元市長が退任されるということで、4月に市長選挙に伴う市政公開討論会を開催いたしました。例年だと会場に市民を集めて立候補予定者の政策を聞くという形式ですが、今年度はコロナに対応する形でＹｏｕＴｕｂｅを活用した配信形式をとりました。また石巻の川開き祭りも規模縮小ということで、例年私たちが運営している大縄引き大会の開催が難しく、その代替事業として道の駅上品の郷で「石巻川開き祭りパネル展」の開催を予定しています。また、小学生を対象に地域の魅力や歴史を、アトラクションを通じて学んでいる様子を動画に収めてＹｏｕＴｕｂｅで一般公開するという内容の「ちびっ子ユーチューバーが行く！謎解きたから探しツアー」を開催します。また、9月には公開講演会としてテレビでお馴染みの本間ちゃん、法音寺の谷川住職をお呼びして石巻圏域の方言を学んでいただく事業を計画しています。

佐瀬：これからも事業が盛り沢山ということで、石巻を盛り上げていただければと思います。最後に会員メンバーへ向けたメッセージをお願いします。

沼倉：会員のみなさんに「今年一番成長するのは私だ」と年当初言いました。今年度も残り半分を切りましたが、まだまだ私は成長していきます。みなさんもコロナの影響で思うようにいかない一年かとは思いますが、一緒に成長していきましょう。

佐瀬：それでは最後に、沼倉理事長のラベリングですが、ＪＣＩ石巻の木村亜梨沙専務理事に素敵なラベリングを考えていただきました。「磨き続ける理事長。靴も歯も自分も」ということで、これからも色んなものを磨き続けていただければと思います。本日はありがとうございました。

沼倉：ありがとうございました。

Business Report

事業紹介

会員開発委員会

３月例会

会員の拡大は組織の存続だけでなく、地域の課題解決へと繋げて行く上で必要な取組みです。その中で、メンバー一人ひとりが会員拡大の重要性を理解して、組織一丸となって会員拡大に取り組むために、メンバー一人ひとりが会員拡大の重要性を理解して、会員拡大の重要性を理解する事を目的としました。内容としては、５年後10年後を見据えた会員拡大の必要性の第一部と各委員会のグループに分かれてＪＣの良いところをメンバーで共有しました。今後、ＪＣＩ石巻の会員拡大のスタイルを築き上げる一助に出来たと思います。

メッセージ

石巻青年会議所は、20歳から40歳までのひとづくり・まちづくりの団体です。私たちの団体は、石巻市、東松島市、女川町の二市一町を活動エリアとして、子供たちと触れ合う機会を作り、地域の課題について仲間と共に議論を重ね、自分達の故郷をより活気のある地域にして行く事を常に考えながら活動しています。現在一人でも多くの青年会議所の会員を募集しています。自分達の故郷が誇れる地域にして行くために一緒に活動していきましょう。

まちづくり広報委員会

市政公開討論会

４月10日（土）、４月公開例会「石巻市長選挙に伴う石巻市市政公開討論会」をオンライン形式で開催いたしました。

今回の市長選は震災から10年という節目でもあり、私たちの活動エリアである石巻市が復興から再生に向けてどのようにプロデュースされていくのか、非常に注目度が高い選挙でした。当初は会場とオンラインを併用した開催を予定しておりましたが、宮城県独自の緊急事態宣言の発令、そしてまん延防止等重点措置が適用されている現状を鑑み、来場者の安全の確保について十分に検討した結果、動画投稿サイト「Youtube」を活用したオンライン配信のみという形での開催とさせていただきました。当日のライブ配信では約130名の方々にご視聴いただき、討論会終了後から公開させていただいておりましたアーカイブ動画は、延べ約2,500名の方にご視聴いただきました。昨今の情勢に即した開催形式の経験を今後の私たちの運動発信に活かしていきたいと思います。

ちびっ子ユーチューバーが行く！謎解きたから探しツアー

2021年８月１日（日）石巻圏域の小学生12組17名を対象に、石巻の歴史を知ってもらい郷土愛を醸成することを目的として学びと遊びを融合させた本事業を開催しました。

「鋳銭場跡」、「縄張神社」、「大島神社」を撮影スポットとして、小学生にユーチューバー体験を通してパネルワーク、なぞとき、宝探しアトラクションをしながら学んでいる姿を動画に収めました。収録した動画は石巻市青年会議所Youtubeチャンネルでご覧いただけますのでぜひご視聴ください。

青少年委員会

７月例会

今や青少年にとってはあって当たり前、私達大人にとっても無くてはならないツール「インターネット」について、改めてその使いこなし方「インターネットリテラシー」を学ぶ事を目的として「７月例会　青少年とともに歩む情報化社会」をマルホンまきあーとテラスを会場に開催しました。二部構成の前半では、青少年を取り巻く現状や石巻圏域のgigaスクール構想についての座学、後半ではグループディスカッションで青少年の身に起こりうるインターネットトラブルとその対処法について話し合い、青年として発信する情報を共有し合いました。

９月公開講演会

普段、誰から習った訳でもないけれど私達が自然に話している石巻弁（ずーずー弁・宮城弁）を、宮城を代表するローカルタレント「本間ちゃん」こと本間秋彦さんと、石巻弁研究の第一人者谷川正明住職から楽しく・面白く・深く学んでみようというコンセプトで「９月公開講演会「もっと地元が好きになる！ことばの授業」」を９月20日に開催します。何気なく使っている方言の歴史や雑学を学びながらも、子供たちが何気なく思った方言の疑問を本間ちゃんと谷川住職に解説してもらい、楽しみつつも郷土無形文化への理解を深める講演会を開催します。

祭り委員会

２月例会

石巻川開き祭りという石巻圏域の重要なお祭りを（一社）石巻青年会議所の会員一人ひとりが自らの意志で継承していこうという当事者意識を高めることを目的として、2月例会「石巻川開き祭りと継承する想い」を開催しました。内容としましては、石巻川開き祭り開催の背景や今日まで引き継がれてきた歴史、想いをスライドで上映、解説。更に特別会員の先輩をお呼びして、現役当時、どのような想いで祭り事業を運営されたのか講話をいただきました。明るい豊かな社会を目指す石巻青年会議所が、創立当初から地域に活気をもたらすために地域の魅力を発信し続けているということに気づき、石巻川開き祭りの継承に対する当事者意識を高める貴重な機会となりました。

石巻川開き祭り

例年であれば石巻川開き祭りにて「縄張神社奉納大縄引き大会」の主催、運営を行っていますが、本年は新型コロナウィルスの影響により石巻川開き祭りが昨年に引き続き中止となってしまったため、「石巻川開き祭りパネル展」を開催しました。石巻川開き祭りの歴史、事業を紹介するパネルを展示。大縄引き大会のシンボルでもある無病息災を願う茅の輪の展示。参加者の願いを灯ろう型のメッセージカードに込めてもらうパネルでの灯ろう流し体験など。祭りが中止であっても石巻圏域住民に祭りの雰囲気を感じて楽しんでもらい、来年の石巻川開き祭り開催への期待感を高めていただきました。

総務委員会

定時総会

定時総会並びに１月例会では新しい年を迎え石巻青年会議所の2021年度新体制が始動しました。定時総会においては、2020年度の報告を行い、１月例会より「不易流行～自分を、未来を、アップデート～」のスローガンを掲げ、多くの会員の方々と2021年度の最初の例会を開催することができました。１月例会のアトラクションにおきましては無病息災を願い、2021年度理事長と各委員長の計６名分のアマビエだるまを準備し、今年の意気込みを一文字で表してもらい、それぞれの思いを話していただきました。コロナウィルス感染拡大防止のため飲食を伴う懇親会を中止にし、時間を短縮しての開催ではありましたが、2021年度の事業意思を表明し、組織全体における目標を明確にできた例会となり、2021年度を無事スタートすることができました。

５月例会

東松島市宮戸にある宮城オルレ奥松島コースにおいて５月例会「東松島市の魅力を体験し、発信できる人材への道」を開催しました。内容としましては、宮城オルレ奥松島コースを第１部Ａ・Ｂグループ、第２部Ｃ・Ｄグループの計４つのグループを作り、コロナウィルス感染拡大防止に努めた上で東松島市の魅力を仲間とともに自らの足で歩き体験して学んでいただく内容にしました。そして、参加者が自ら撮影した写真や体験から学んだ内容、感想をまとめた写真集を作成し参加できなかったメンバーにも学びを伝えられるようにしました。「百聞は一見に如かず」という言葉がありますが、まさにその通りだと思いました。また、参加したメンバーに実施したアンケートではたくさんの高評価をいただき主催者側としても開催してよかったと心から思いました。参加者の汗や笑顔が絶えない、身体によく、楽しい例会となりました。

会員紹介 Member introduction

①仕事について　②入会の決め手　③JCで身についたことor身につけたいこと

所属 青少年育成室 **杉山 満之 君**

①うなぎ・食肉の卸売および小売を行っています。
②石巻に帰って来た時から入会は決めていましたが、早期に入会決めた理由としては、小中の同級生である沼倉理事長を始め年の近い皆さんが、仕事以外の部分で地域のために頑張っている姿を見て、自分も微力ながら役に立ちたいと考えたことが決め手となりました。
③身についたこと…時間のやりくり（家庭・仕事・JCの両立）身につけたいこと…伝える力、何事も自分事として主体的に取り組む姿勢

所属 祭り委員会 **菅野 峻 君**

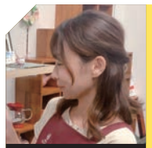
①一般住宅の新築住宅、リフォーム工事、外構工事、水道工事などを行っている会社です。
②同世代の仲間づくりもありましたが、石巻青年会議所が行っている事業の川開き祭りや青少年事業の内容を聞いて自分も参加したいと思い入会した。
③JCの事業や交流を通して、この地域について考える機会が増へたことで、地域に対しての考え方が変わったこと。

所属 総務委員会 **伊藤 泰規 君**

①日用品の卸売業&小売業を営んでおります。
②今の会社に入社する前に勤めていた会社の社長様（OBの先輩）の紹介で入会させて頂きました。
③第一に仕事と家庭とJC、この3つのやりくり。
第二にお世話になっている方々への恩返し。
第三にJCを卒業する40歳になったときにより地域に貢献できる人材となること。

所属 まちづくり広報委員会 **大橋 勝浩 君**

①生花の販売と卸売業を営んでいる会社です
②重度の人見知りの改善と人脈を広げるため
③自身の仕事とＪＣの活動の為の時間の使い方や様々な資料や書類の作成など沢山のスキルアップが出来ました。また事業を通じて石巻のことを改めて知ることが出来、これからも様々な方々に伝えていきたいと思います。



所属 会員開発委員会 **日野 朱夏 君**

①日本茶及び仏事返礼品の販売
②コミュニティーを広げられる、自己成長が出来ると感じたから
③入会してから人前で自信を持ってお話しができるようになった。石巻圏域の歴史や良さを自分自身で理解し、人に伝えられるようになった。今後は事業の構築など0から何かを創り出す能力や、コミュニケーション能力を身につけたいです。

所属 青少年委員会 **大森 萌子 君**

①家業の日本料理店とカフェで働いています。
②地元を離れている期間が長かったので、石巻で新しいコミュニティーを作りたいと思い入会しました。
③入会してからは、仕事のことばかりではなくまちのことを考える機会が増え、視野が広がりました。行事やイベントの運営に関しては普段携わることが少ないので、JCの事業を通して学んでいけたらと思っています。

所属 まちづくり広報委員会 **末永 康也 君**

①水産加工販売に携わっています。会社での役割は営業部と製造部の統括をしています。
②様々な職種の方と触れ合うことで刺激・勉強になると思い入会しました。
③少なからず、地域に携わるイベントに参加していくことで、石巻の魅力や歴史を改めて認識することができました。今後は主体的に地域貢献活動に関わっていけたらと思っています。

所属 会員開発委員会 **坂田 秀隆 君**

①仕花屋に勤務しております。【私たちの街をお花と笑顔のとびかう街に】をコンセプトに花のギフトギャラリーとして商品、サービスを提供しています。花1本からでもお気軽に買えるアットホーム感をモットーに日々頑張っております。
②会社の上司から紹介でしたが、異業種の方たちと交流することで様々な社会勉強になりますし、転職で石巻に来てまだ間もないので、友人づくりや人脈形成、そして石巻の街のために何かを作り上げ感動を分かち合いたいと思ったからです。
③入会してまだ間もなく活動の幅も大きくはないですがその中で感じたことは、JCは一人仕事ではないので必ず役割があり、自分の得意なところを発揮しさらに伸ばしていけること。同様に相手の得意や興味も見つけ出し尊重しようという精神が身に付きました。

JCI Ishinomaki 2021 委員会紹介

宇都宮 光博委員長

会員開発委員会

会員開発委員会は新たなる同志を迎え、青年会議所の活動を通しながら、新入会員が今後、積極的に活動してもらうために新入会員をサポートして行く委員会です。本年度はコロナの影響で多くの諸団体と触れ合う機会は少ないのですが、多くのメンバーや先輩諸兄の皆様と会う機会をつくり、一人ひとりの自己研鑽を図れる設えを行っていきます。

青少年委員会

浅野 太一郎委員長

青少年委員会は、主に青少年育成事業とサン・ファン祭りの担当委員会です。今年度はコロナ渦で延期となってしまいましたが、例年だと５月に開催されるサン・ファン祭りの全体運営と青少年に向けたサン・ファン・バウティスタ号の魅力を発信する企画ブース運営を行います。７月と11月にはＪＣＩ石巻会員の資質向上に繋がる例会の開催、９月には青少年の健全育成に関連した講演会を開催します。ＪＣＩ石巻が地域の青少年の豊かな未来社会を創造するために、青少年を取り巻く現状を学ぶ機会作り、地域の歴史や魅力を伝える講演会作り、青少年が楽しめる祭り作りのために活動する委員会です。

祭り委員会

四野見 達也委員長

当委員会は、石巻川開き祭りで地元に活気をもたらすような祭りを創造したり、会員相互の情報共有を推進する委員会です。例年であれば石巻川開き祭りで「縄張神社奉納大縄引き大会」の主催、運営をして祭りを盛り上げるとともに、石巻川開き祭りの由来や地域の歴史を来場者に伝えたり、各委員会の活動を掲載した情報紙を毎月発行し、会員間の情報、経験の共有を推進するというのが主となる活動内容になります。新型コロナウィルスの影響により、十分な活動ができていない状況ではありますが、今できることに焦点を合わせ、率先して活動を行っています。

総務委員会

福田　敬一委員長

総務委員会は年度のスタートである１月の定時総会の開催、次年度の役員体制を紹介する８月納涼例会、年度の締め括りである12月卒業例会といったように１年間の始まりと終わりを担当しています。また、石巻青年会議所の活動内容を決定する理事会の設え、その内容を後世に残すため議事録の作成、毎月行われる各例会のセレモニーを担当するなど１年間を通して活動している委員会でもあります。それらの活動を行いながら今年は５月例会として石巻青年会議所の活動圏域である東松島市において、対内事業としては初めての試みである野外体験型の例会を行い、会員の資質向上、団結力の強化に努めました。このように総務委員会は石巻青年会議所の大黒柱として活動している委員会です。

まちづくり広報委員会

伊勢　瑛委員長

まちづくり広報委員会は、その名のとおり「まちづくり」と「広報」の２本を軸として活動している委員会です。「まちづくり」事業としては４月に石巻市長選挙に伴う公開討論会の開催、８月には川開き事業として小学生向けのユーチューバー体験イベントを通じて地域の魅力と歴史について学んでもらいました。また「広報」活動としては、Instagram、Facebook、公式サイトの運営、広報誌の発行を行うことで、私たちJCＩ石巻の活動をより多くの市民の皆様に伝えています。このまちをより良くするために委員会メンバーひとりひとりが一丸となり楽しみながら活動しています。

石巻市長へ表敬訪問!!

三役会が聞く ～これからの石巻～

2021年７月27日(火)、石巻市の市長に４月29日付けで就任されました齋藤正美様へ表敬訪問してきました。限られた時間の中で齋藤市長が考える今後の石巻の在り方等、様々なお話を伺うことができました。今回の記事はその要旨をまとめたものです。

写真:左から副理事長 後藤峻、副理事長 岡泰史、齋藤正美石巻市長、理事長 沼倉勝哉、　専務理事 木村亜梨沙、事務局長 松本怜大

Q SDGsへの取り組みについて伺います

A 岩手町の町長とは源流と河口（石巻市）という関係なので、流域全体で水害を軽減させる流域治水連携の打合わせを行いました。

Q 石巻圏域の小学生に向けて一言お願いします

A 石巻の楽しい場所や学べることを体験して貰う場を提供したいと考えています。

Q リボーンアート・フェスティバル2021-22が開催されます

A 石巻全体で盛り上げていける様な何かをしていきたいと考えています。

Q いしのまきSDGsパートナーの登録について

A 石巻市ではSDGsの推進に賛同する企業等を「いしのまきSDGsパートナー」として登録しているが、ＪＣと連携しながら賛同する企業を積極的に増やしていきたいと考えています。

Q 全国豊かな海づくり大会が開催されます

A 10月2・３日（関連行事含む）にマルホンまきあーとテラスにて開催されます。最大の被災地である石巻市に天皇・皇后両陛下にいらっしゃっていただきたい。石巻を発信していくことが重要と考えています。（９月１日時点では開催予定）

Q チュニジア共和国の男子水泳の選手が金メダルを獲得しました

A 震災直後チュニジア共和国大使館は炊き出しなどで石巻市を支援。その感謝に市は「復興『ありがとう』ホストタウン」となり、コロナ以前にも石巻で合宿を行うなど交流のあるチュニジア共和国水泳選手アハメド・ハフナウーイ（18）選手が東京オリンピック競泳男子400メートル自由形で金メダル獲得。今回もオリンピック前の事前合宿として石巻市に滞在していたものの、行動制限により外出はできず。そんな中の金メダル獲得は素晴らしいですね。

Q JCと市の連携について

A 市も協力していくので魅力あるJC作りをすすめて欲しいと思います。

Q 市の災害対策について

A 下水の工事をしているがまだ２年ほどかかるので、今ある排水設備をしっかりと稼働できるようにして対策していきたいと考えています。

Q 政策コンテストに望むことは

A 市では思いつかない考えがほしいと思います。

Q 石巻から偉大な漫画家を輩出したいと思います

A 漫画家志望の人材を呼ぶ方法を考えています。

Q 環境整備について

A 石巻には環境ビジターセンター２つあるが、東屋（休憩施設）をさらに設置して市民の憩いの場を設けたいと考えています。